

地学協働

北海道の地域と学校の連携・協働を応援する広報誌 No. 46

TOPIC

1. 北海道地学協働アワード2026
2. 地域と学校の連携推進協議会
3. CS等に係る協力団体
4. 子どもの読書活動推進コーナー

7月

1 「北海道地学協働アワード2026」応募開始しました

道教委では、各高等学校・特別支援学校が自校の歴史や文化、学習資源を地域に還元したり、地域ならではの資源を活用して充実した教育活動を展開したりするなど、地域と連携・協働した魅力ある学校の取組（【地域×〇〇】）をnoteへの記事投稿を通して“見える化”し道内外へ発信することを目的として、「北海道地学協働アワード2026」を開催しています。

「北海道地学協働アワード2026」とは

後援：note株式会社

協賛：JAグループ北海道、株式会社コンサドーレ、国立大学法人北海道教育大学

※平成23年10月からJAグループ北海道、株式会社コンサドーレ、国立大学法人北海道教育大学、北海道教育委員会の4者が協力協定を結び、道内の子どもの教育の推進を図っています。

応募対象は、noteアカウントを有する道内の公立高等学校、公立中等教育学校（後期課程）、公立特別支援学校（高等部）で、下記の4部門へ応募できます。

地域の課題解決部門	スポーツ・伝統・文化等連携部門	企業・団体連携部門	フリー部門
地域の課題解決に関する活動において地域と連携・協働した生徒の学びや活動を伝える記事になっていること	スポーツや地域の伝統や文化、自然環境に関する活動（部活動を含む）において地域と連携・協働した生徒の学びや活動を伝える記事になっていること	地域の企業・NPO等と連携・協働した生徒の学びや活動を伝える記事になっていること	（左記3つの部門以外で）地域と連携・協働した生徒の学びや活動を伝える記事になっていること ※部門に迷った場合は、こちらにご応募ください。

★応募方法★

～普段から投稿している内容の記事でもお気軽にご応募ください～

記事のタイトルを
①「【地域×〇〇】～」にして
②記事最下部にハッシュタグ
「#北海道地学協働アワード2026」
を付け、note記事を投稿



以下フォームから申請
<https://www.har.p.lg.jp/DBAosLH9>



応募完了

2 令和8年度 地域と学校の連携推進協議会（全道）開催報告

〈参加者内訳〉

市町村行政関係者	学校関係者	学校運営協議会委員
21名	45名	3名
地域学校協働活動推進員等	社会教育関係者	道社会教育主事、指導主事、その他
17名	17名	20名

開催日：令和8年（2026年）6月10日（水）
主 催：北海道教育委員会
開催地：道立生涯学習推進センター（配信）
参加者：123名 ※内訳：右記表のとおり。

道教委では、講義や協議を通して、子どもたちの学びや成長を支えるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の目的や仕組み、それらを一体的に推進するための行政、学校、地域学校協働活動推進員等の役割を再確認し、各地域の状況に応じた今後の取組の方向性を見いだすことを目的として、「地域と学校の連携推進協議会（全道）」を開催しています。

講話：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組について」

講師：栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹

文部科学省CSマイスター

井 上 昌 幸 氏

本協議会では、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組」について、県立工業高校における管理職としての御経験をもとに、学校運営協議会における熟議や実際の活動事例を交えながら講話をいただきました。

【講義レジュメ】（一部抜粋）

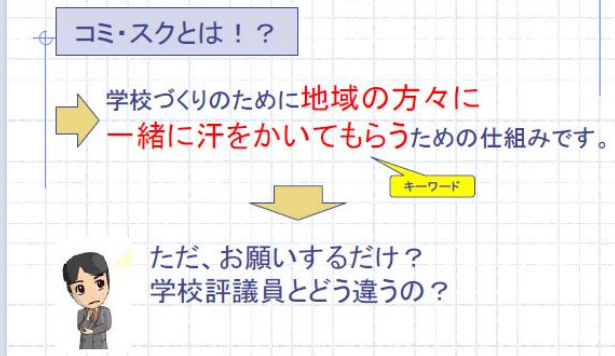
- ・学校と地域の連携・協働の意義
- ・コミュニティ・スクールとは
- ・コミュニティ・スクール立ち上げのプロセス
- ・真岡工業高校での実践例
- ・コミ・スクを立ち上げてみて

【参加者の声】

- ・高校は学区が広いので、「地域」をどう捉えたら良いのかいつもモヤモヤしていました。「学校課題の解決のために一緒に汗をかいてもらう人選をする」という考え方は、自分にとって非常にインパクトがありました。
- ・学校運営協議会の委員選考について一考できました。今後は、委員の任期が一度終わるので、改めて検討していきたいと強く思いました。



コミュニティ・スクールとは



（井上講師「講話資料」より）

地域と学校連携推進協議会協議会（各ブロック）の開催予定

道央ブロック （石狩教育局）	道南ブロック （胆振教育局）	道東ブロック （根室教育局）	道北ブロック （留萌教育局）
9月18日（金）	9月8日（火）	10月8日（木）	10月27日（火）
13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30

文部科学省では、コミュニティ・スクール等の仕組みを活用した関係団体・関係者との更なる連携促進、互恵的関係の構築・深化に向けて広く周知を図ることができるよう、趣旨に賛同・協力いただける関係団体等のリストを作成しています。

今回は、以下のリストのうち、《教育分野》に掲載されている「公益財団法人日本漢字能力検定協会」から日本語・漢字に関する普及啓発・支援等について情報提供をいただきました。

▼「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に係る協力団体等リスト【令和8年5月時点】」文部科学省▼

https://manabi-mirai.mext.go.jp/upload/kyouryokudantai_list_gaiyou.pdf



(公財) 日本漢字能力検定協会は、内閣府に認定を受けた公益法人(非営利法人)です。日本漢字能力検定(漢検)や文章読解・作成能力検定(文章検)に加え、国語・漢字をテーマとしたゲームやイベント、無償学習教材など、さまざまな学びのコンテンツを提供しています。地域学校協働活動の1つの取り組みとしてご活用いただけますと幸いです。

「漢字桃鉄 地名漢字っておもしろい！」

無償

その他無償学習教材・コンテンツがあります！



- ・すごろくをベースとしたオリジナルゲームを通して、子どもたちが自ら学び、漢字に興味を持っていくエデュテイメント教材
- ・講座スライド、ワークシート、講座案、講座台本が付いており、講座準備の負担を軽減

「今年の漢字®」

無償



- ・「今年の漢字®」は漢字の素晴らしさや奥深い意義を伝えるために1995年から開始
- ・毎年年末に、1年の世相を表す漢字一字を全国から募集、誰でも参加できるイベント

10名以上の志願者が集まれば、学校・社会教育施設等で「漢検」を実施できます！

検定料は
受益者負担

漢検

後援：文部科学省 北海道教育委員会

▶資料請求は
こちらから



全国フォーラム（in群馬）開催

文部科学省、群馬県教育委員会が主催の「地域とともにある学校づくり推進フォーラム2026群馬」が開催されます。

- ◆開催日：令和8年7月31日（金）
- ◆開催場所：Gメッセ群馬
- ◆参加方法：会場参加、オンライン配信
- ◆申込期限：令和8年7月27日（月）



新時代の教育を支える働き方改革通信

道教委では、学校における働き方改革に活かすことができるような好事例を全道に普及することとしており、【新時代の教育を支える働き方改革通信～My Revolution～】を発行しています。

この通信は、様々な学校の好事例や制度内容などを皆さんにご紹介し、少しでも取り入れていただければという思いで作成されていますので、ぜひご覧ください。



社会教育課では、地学協働の推進とともに、子どもの読書活動の推進に関することについても取り組んでいます。今号は、道内の2管内から、学校図書館の好事例を紹介します。

【空知管内】読書で育む学びと地域のつながり（岩見沢市立岩見沢小学校）



読書意欲を高め、学びを支える学校図書館

岩見沢小学校では、図書委員会が貸出・返却業務のほか、本の整理やおすすめ図書の紹介などを主体的に行い、書架はいつも整然と保たれています。また、校内放送でも委員の児童が図書を紹介したり、読書冊数に応じてオリジナルしおりがもらえる「読書スタンプカード」の取組を実施したりするなど、児童が読書に親しめる環境づくりを進めています。学校図書館は学級単位でも利用できる広いスペースを備え、読書活動はもちろん、調べ学習などにも活用され、児童の主体的な学びを支えています。

地域とともに育む読書活動

保護者や地域の方約10名が、読み聞かせボランティアとして月2～4回活動し、朝学習や休み時間に各教室や学校図書館で読み聞かせを行っています。読み聞かせで紹介された本は貸出しにつながることも多く、児童が本に親しむきっかけとなっています。地域の方々との継続的な交流を通して、学校と地域が一体となって子どもたちの読書活動を支え、豊かな学びや読書習慣の形成につながる取組となっています。



【後志管内】読書が身近になる学校・地域づくり（喜茂別町立喜茂別中学校）



中学校の新着図書コーナー

学級文庫コーナーやレクリエーションで本と出会う

図書・生活委員会が中心となり、学級文庫コーナーが各教室に作られています。「朝読書の時間で読める本」や「クラスみんなが読める本」をテーマに委員の生徒が選書を行っており、他の生徒たちにも大変好評で、読書に対する意識の醸成や、読書習慣の定着につながっています。また、今年8月には「普段学校図書館にこない生徒が本に触れる機会を作る」を目標としたレクリエーションも実施予定となっています。

学校図書館展とタイアップした、町の「図書祭り」

喜茂別町では、12月に中学校（学校図書館展）と町教育委員会が共催で「図書祭り」を実施しています。中学校を会場に、中学生ボランティアや町の読書推進員「いちご絵本の会」による絵本の読み聞かせ、中学校教諭による大人向けの授業、クリスマスキャンドル製作、町のお店が協力する図書カフェや古本市などが開催され、どの世代も本に親しむことができる内容で、毎年たくさんの方が来場しています。



読書推進員による読み聞かせ



題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

（公益社団法人 北海道観光機構）のフォトライブラリーからご提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>